

業務部速報

発信者》JREU

仙台地本業務部 / 湯ノ目

〒983-0852

仙台市宮城野区榴岡1-4-3

TEL 022-297-0155

FAX 022-291-3070

JR 031-3981~3

FAX 031-3980

2019年 1月 15日

「仙台駅出札の業務委託について」並びに「窓口の設置について」に関する申し入れ【団体交渉】①

2019年1月15日14時30分から『「仙台駅出札の業務委託について」並びに「窓口の設置について」に関する申し入れ』の団体交渉を行いました。概要については、下に記載の通りです。詳細について、不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

(1項)「変革2027」の将来ビジョンも含めて、現時点における仙台支社としての営業職場の運営の在り方と「仙台駅出札業務委託」「窓口の設置について」の目的を明らかにすること。

(回答)当社を取り巻く環境の変化やエルダー社員の雇用の場の確保の必要性、駅業務を担う人材の育成等を踏まえ、グループ体となった効率的な駅業務体制を構築していく考えである。

【主な議論】

- ・目的に関しては、回答の通り。・提案時以降、(委託する目的など)趣旨は変わらない。
- ・今後の委託そのものに関しては、事象、要素を見ながら行う。また、受託側の体力もある。
- ・(受託駅全体として)将来的には、受託側プロパーの方が核になり、ゼロとはすぐにならないが(プロパーの方での運用する)その方向性を目指すこととなる考え。
- ・仙台支社の為になるものを見極めながら、「変革2027」のゴールに向けて、丁寧に行っていく。

(2項)「仙台駅出札の業務委託」にあたっては、受託会社の要員を確保したうえで実施すること。また、この施策に伴いJR採用者の出向者が発生するのかが明らかにすること。尚、本人の意向を尊重し出向する組合員に関しては、その目的・期間を明確に示しモチベーションを高めて業務が出来るようにすること。

(回答)業務委託後の体制については、受託会社において決定することになる。また、社員の運用にあたっては、本人の適性等を総合的に勘案して決定することとなる。

【主な議論】

- ・提案時同様、管理1名、一般38名で委託する考え(基本は作業ダイヤ委託、窓口営業時間変更なし)(38名中、この間の委託時同様出向者とプロパーの割合は半々)(車掌試験受験者は基本、今回の施策による出向は無い)
- ・出向期間に関しては、この間の議論経過通り(原則3年)(出向に行く場合も、戻りの場合も本人の意見聴取)
- (組合)この間の駅業務委託の施策と違うのは、平成採用者が出向となる事である。他のところでも注視している。
- (会社)他の支社も注目している。こういうやり方もあるのかなど、良い見本となれるようにしたい。より良い形で行えるようにしていきたい。
- (組合)仙台駅の出札窓口業務委託により、本体の業務レベルの低下とならないようにすること。
- (会社)JR社員の業務知識を維持していく為、委託により受託会社の業務レベルを上げ、本体としても負けないようにしていく。
- (組合)今施策により出向となる特に平成採用者がモチベーション高く、施策を担えるようにならなくてはならない。そのためには出向終了後も高い意欲をもてる形が残されていなくてはならない。今回出向に行く方は営業職場において管理者や企画部門で活躍する方も含めて営業の中心で核として中心で頑張っていってもらいたい方という認識で良いか。
- (会社)そうだ。